

各 位

フィデアホールディングス株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

平成 25 年 3 月期（平成 24 年度）決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 25 年 3 月期（平成 24 年度）の連結業績と株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：齊藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）連結業績

経常収益は、資金運用収益や役員取引等収益の増加等により前期比増収。経常利益は、経費や与信関係費用が減少した一方で、有価証券の売却損や減損処理が増加し、前期比減益となったものの、当期純利益は前期比横ばい。

コア業務粗利益経費率は経費の減少等で大幅に良化し、74.43%。

譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金を中心に増加し、前期末比 1,209 億円（5.5%）増加の 2 兆 2,893 億円。貸出金残高は個人ローン、地方公共団体向けを中心に増加し、前期末比 828 億円（5.4%）増加の 1 兆 6,022 億円。

連結自己資本比率は内部留保の増加等で前期末比 0.73 ポイント上昇し 8.80%。連結 Tier I 比率も前期末比 0.28 ポイント上昇し 6.52%（いずれも速報値）。2 行合算（単体）の金融再生法開示債権比率は前期末比 0.44 ポイント良化し 2.35%。

平成 25 年 3 月期の配当は、普通株式 1 株当たり 5 円の期末配当を実施（年間 5 円）。

		番号	フィデアHD			
			前期(末)	前期(末)比	同増減率	
【連結】	損 益	経常収益	(1) 49,360 百万円	49,126 百万円	234 百万円	0.4 %
		連結粗利益	(2) 36,658 百万円	38,748 百万円	△ 2,089 百万円	△ 5.3 %
		経常利益	(3) 6,937 百万円	7,523 百万円	△ 585 百万円	△ 7.7 %
		当期純利益	(4) 4,228 百万円	4,243 百万円	△ 14 百万円	△ 0.3 %
	経 営 効 率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(5) 74.43 %	78.06 %	△ 3.63 %	
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率	(6) 8.80 %	8.07 %	0.73 %	
		Tier I 比率	(7) 6.52 %	6.24 %	0.28 %	
	主要勘定残高 (末残)	総資産	(8) 24,880 億円	23,522 億円	1,357 億円	5.7 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(9) 22,893 億円	21,684 億円	1,209 億円	5.5 %
		貸出金	(10) 16,022 億円	15,194 億円	828 億円	5.4 %
		有価証券	(11) 7,811 億円	7,009 億円	801 億円	11.4 %
	【合算】不良債権	金融再生法開示債権額	(12) 38,572 百万円	43,388 百万円	△ 4,816 百万円	△ 11.1 %
		総与信に占める割合	(13) 2.35 %	2.79 %	△ 0.44 %	

(2) 平成 26 年 3 月期（平成 25 年度）連結業績予想

平成 26 年 3 月期通期連結業績は、ニューフロンティアビジネスへの貸出やフィービジネス等への取り組みを強化し、平成 24 年度比増益となる計画。

	番号	第2四半期累計期間			通期		
		前年同期比	同増減率		前期比	同増減率	
フィデアHD(連結)	経 常 利 益	(14) 4,200 百万円	△ 219 百万円	△ 4.9 %	7,100 百万円	162 百万円	2.3 %
	当期(中間)純利益	(15) 2,500 百万円	△ 365 百万円	△ 12.7 %	4,300 百万円	71 百万円	1.6 %

※平成 26 年 3 月期の配当は、普通株式 1 株当たり 5 円の期末配当を計画（年間 5 円）

(次ページへ)

2. 荘内銀行

(1) 平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）単体業績

経常収益は資金運用収益や役務取引等収益が増加したものの有価証券売却益の減少等により前年同期比減収。コア業務純益は資金利益の増加等により増益。経常利益及び当期純利益も資金利益の増加や与信関係費用の減少等で増益。

譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金を中心に増加し、前期末比 843 億円（7.9%）増加の 1 兆 1,434 億円と引き続き大きく増加。貸出金残高は個人ローンや地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前期末比 574 億円（7.1%）増加の 8,645 億円。

金融再生法開示債権額は、震災後に返済猶予等条件変更に応じた貸出金の返済が一部正常化したこと等から前期末比 66 億円減少。総与信に占める割合は前期末比 0.94 ポイント良化して 1.81%。

単体自己資本比率は内部留保の積み上げや劣後債発行等により、前期末比 0.18 ポイント上昇して 10.39%（速報値）。

		番号	荘内銀行				
			前期(末)	前期(末)比	同増減率		
【単体】	損益	経常収益	(16)	22,388 百万円	22,429 百万円	△ 40 百万円	△ 0.1 %
		業務純益	(17)	4,797 百万円	4,678 百万円	118 百万円	2.5 %
		コア業務純益*	(18)	4,608 百万円	4,032 百万円	576 百万円	14.2 %
		経常利益	(19)	3,727 百万円	3,461 百万円	266 百万円	7.6 %
		当期純利益	(20)	1,830 百万円	1,460 百万円	370 百万円	25.3 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(21)	15,987 百万円	22,685 百万円	△ 6,697 百万円	△ 29.5 %
		総与信に占める割合	(22)	1.81 %	2.75 %	△ 0.94 %	
		与信関係費用	(23)	313 百万円	760 百万円	△ 446 百万円	△ 58.7 %
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率	(24)	10.39 %	10.21 %	0.18 %	
		Tier I 比率	(25)	7.52 %	7.52 %	0.00 %	
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(26)	11,434 億円	10,591 億円	843 億円	7.9 %	
	貸出金	(27)	8,645 億円	8,070 億円	574 億円	7.1 %	
	有価証券	(28)	3,401 億円	2,718 億円	683 億円	25.1 %	

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年 3 月期（平成 25 年度）単体業績予想

荘内銀行の平成 26 年 3 月期通期単体業績は、預貸金を中心に業容が引き続き拡大すること等を背景に、平成 24 年度比増益となる計画。

		番号	第2四半期累計期間			通期		
			前年同期比	同増減率	前期比	同増減率		
荘内銀行(単体)	経常利益	(29)	2,400 百万円	830 百万円	52.9 %	3,750 百万円	22 百万円	0.5 %
	当期(中間)純利益	(30)	1,450 百万円	549 百万円	61.0 %	2,300 百万円	469 百万円	25.6 %

(次ページへ)



3. 北都銀行

(1) 平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）単体業績

役務取引等収益の積み上げや効率化による経費の削減に取り組んだ一方で、利回り低下による資金利益の減少や有価証券関連損益の減少等から、経常利益、当期純利益はいずれも前期比減益。

業容は引き続き拡大。譲渡性預金を含む預金等の期末残高は個人預金、法人預金、公金預金が総じて増加し、前期末比 402 億円（3.5%）増加の 1 兆 1,596 億円。貸出金は個人ローン、地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前期末比 305 億円（4.2%）増加の 7,507 億円。

金融再生法開示債権は、お取引先企業の業況の変化等を要因として、前期末比 18 億円増加。総与信に占める割合は前期末比 0.13 ポイント上昇して 2.96%。

単体自己資本比率は、内部留保の積み上げ等により前期末比 0.83 ポイント上昇の 9.25%（速報値）。

		北都銀行				
		番号	前期(末)	前期(末)比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益	(31) 23,447 百万円	23,568 百万円	△ 121 百万円	△ 0.5 %
		業務純益	(32) 3,056 百万円	5,241 百万円	△ 2,185 百万円	△ 41.6 %
		コア業務純益*	(33) 3,385 百万円	3,601 百万円	△ 216 百万円	△ 5.9 %
		経常利益	(34) 2,036 百万円	3,204 百万円	△ 1,168 百万円	△ 36.4 %
		当期純利益	(35) 1,205 百万円	1,522 百万円	△ 316 百万円	△ 20.7 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(36) 22,584 百万円	20,703 百万円	1,881 百万円	9.0 %
		総与信に占める割合	(37) 2.96 %	2.83 %	0.13 %	
		与信関係費用	(38) 249 百万円	1,032 百万円	△ 783 百万円	△ 75.8 %
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率	(39) 9.25 %	8.42 %	0.83 %	
		Tier I 比率	(40) 7.63 %	7.38 %	0.25 %	
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(41) 11,596 億円	11,193 億円	402 億円	3.5 %
		貸出金	(42) 7,507 億円	7,202 億円	305 億円	4.2 %
		有価証券	(43) 4,494 億円	4,376 億円	118 億円	2.7 %

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年 3 月期（平成 25 年度）単体業績予想

北都銀行の平成 26 年 3 月期通期単体業績は、システム移行に伴う経費の増加を見込む一方、引き続き業容拡大と預り資産販売手数料の増強等に努め、平成 24 年度比増益となる計画。

		第2四半期累計期間			通期			
		番号	前年同期比	同増減率	前期比	同増減率		
北都銀行(単体)	経常利益	(44)	1,500 百万円	△ 146 百万円	△ 8.8 %	2,900 百万円	863 百万円	42.4 %
	当期(中間)純利益	(45)	850 百万円	△ 53 百万円	△ 5.9 %	1,700 百万円	494 百万円	40.9 %

以上

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

フィデアホールディングス IRグループ 大石 TEL : 018-833-4211
佐藤 TEL : 023-626-9006

くわしくは、「平成 25 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。